

令和 7 年度

事業計画書(案)



白河商工会議所

目 次

| | | |
|------|--------------------------------|---|
| I | 白河商工会議所を取り巻く概況・・・・・・・・・・・・・・・・ | 1 |
| II | 白河商工会議所の使命と役割・・・・・・・・・・・・・・・・ | 1 |
| III | 基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 3 |
| IV | 委員会活動について・・・・・・・・・・・・・・・・ | 4 |
| V | 部会活動について・・・・・・・・・・・・・・・・ | 5 |
| VI | 中小企業相談所事項について・・・・・・・・・・・・・・・・ | 7 |
| VII | 事務局事項について・・・・・・・・・・・・・・・・ | 8 |
| VIII | 諸団体との連携事項について・・・・・・・・・・・・・・・・ | 8 |

はじめに

I 白河商工会議所を取り巻く概況

令和6年は、国の内外共に混迷の度合いが高まり、先行きの不透明感が深まる1年となりました。

世界では、ロシアによるウクライナ侵略や中東情勢の悪化が長期化し、地政学的リスクの高い状況が続きました。経済面では、米国が堅調さを維持したものの中国は停滞し、大国による牽引力にも限りがありました。そうした中、今年1月には4年ぶりにトランプ氏が米国大統領に返り咲き、政治・経済・外交など様々な分野で矢継ぎ早に政策を実行に移していますが、いずれも保護主義・自国第一主義を前提としており、世界中に大きな波紋が及んでいます。

一方、国内に目を転じると、危機的状況にある人口減少問題により、社会・経済への影響が一層深刻度を増し、待ったなしの対応を迫られています。加えて、能登半島地震や奥能登豪雨、年が明けてからの大雪など、各地で大規模災害が頻発しました。また、政治面では、衆議院議員選挙で与党の議席数が過半数を大きく下回り、不安定な政権運営を余儀なくされる結果となり、政策の議論も紆余曲折が続いています。経済面では、歴史的な円安や物価高が続く中、前年に引き続き大幅な賃上げが実現したことに加え日本銀行が「金利のある世界」に金融政策を転換したことなどによりデフレ脱却感が高まり、日経平均株価は史上初の4万円台を記録しました。

こうした情勢の中、企業数・従業員数で大半を占める中小企業や小規模事業者の業況は、緩やかな回復傾向にあるものの、足元では深刻な人手不足やコスト増高、消費低迷などに直面し、力強さを欠いています。加えて、事業承継問題など様々な課題も山積しています。

それらを克服し、持続可能な経営体制を整えるためには、常に自己変革に努め、価格転嫁や生産性の向上、働きやすく魅力ある就労環境の整備などへの対策を講じていく必要があります。

そのため、白河商工会議所では、財政基盤を強化し組織機能の充実を図ることで会員サービスの質を高め、これまでよりも一歩踏み込んだ「伴走支援」を実行するとともに、白河市をはじめとする関係機関・団体と緊密に連携して「地域振興」にも努め、もって地元経済の発展に全力で取り組んでいくものとします。

II 白河商工会議所の使命と役割

白河商工会議所には、「会員のためのきめ細かな支援」と「地域商工業の総合的な改善発展と社会一般の福祉増進」に取り組む使命があり、その実現のため、次の4本の柱により活動を展開します。

1. 中小企業・小規模事業者を元気にする活動の強化(個別支援)

『中小・小規模事業者の自己変革・成長』のために、「省力化・デジタル活用による生産性向上」「事業継続」「補助金申請サポート」などを通じて、これまでよりも一歩踏み込んだ伴走支援により、中小・小規模事業者の「稼ぐ力」を生み出す支援強化に取り組みます。次に、『持続的な賃上げの原資確保』に向けて、「価格転嫁対策」「受注者への価格交渉力向

上の支援」「賃上げの実態把握調査」などに取り組みます。次に、『デジタル化・DX 支援』として、相談会・専門家派遣・セミナー・展示会等を通じて引き続きデジタル実装支援に取り組みます。また、『売上維持・拡大』に向けて、販路開拓や消費喚起のための施策を継続して取り組むとともに、『事業承継支援・スタートアップ支援』、さらには『経営発達支援計画』に基づく「小規模事業者支援」などに取り組んでまいります。

2. 地域の振興・経済活性化を図る活動の強化(地域支援)

『地方創生の推進』として、「人口減少対策」「移住・定住促進対策」「空き家対策」に取り組みます。また、『観光振興の推進』として「大河ドラマべらぼう活用推進」「道の駅構想の検討」「地域資源を活用した土産品開発、ブランディングの推進」などに取り組みます。また、『人手不足対策』については、若者の定着・回帰対策として「地元企業説明会の開催」や「エールしらかわの利用促進」などに取り組むとともに、新たに、「小中学生のキャリア教育推進」に取り組みます。また、地域内の企業と連携し、「働きやすい魅力ある職場環境」の整備・PRを推進することで、若年層が地元で活躍できる環境づくりを進めてまいります。次に、『エネルギー・環境政策の推進』として「環境アクションプラン」の策定・推進などに取り組みます。そのほか、中心市街地活性化の第4期計画を推進するとともに、女性会・青年部との連携強化などに取り組んでまいります。

3. 会員や地域の課題克服に繋がる各種調査、政策提言・要望活動の実施(後押し支援)

引き続き、各種実態調査を通じてエビデンスに基づく政策立案を行い、地域や商工業者に必要な政策や要望事項を各委員会・部会において協議検討し、積極的な提言・要望活動を展開してまいります。

4. 財政基盤・組織力の強化、会議所活動の見える化(持続組織確立・プレゼンス強化)

本年は、議員改選の年度にあたるため、円滑な改選に向けて諸準備を進めてまいります。会員や地域の負託に応えていくため、会員増強や共済制度加入を推進し、財政基盤を強化し組織機能の充実を図ってまいります。また、会員交流大会をはじめ会員間の交流事業を展開していくとともに、会員メリットを積極的にPRし利活用促進を図ってまいります。次に、商工会議所機能の高度化を図るため、業務のデジタル化を推進するとともに、引き続き、職員の資質・支援力の向上に努めてまいります。また、商工会議所の情報をタイムリーに、そして着実に届けられるよう創意工夫し、ホームページのリニューアルを進めるとともに、会報の充実とSNSの積極的な活用により有益情報を発信してまいります。

Ⅲ 基本方針

1. 中小企業・小規模事業者を元気にする活動の強化【個別支援】

| 項目 | 主な取り組み |
|---------------------------|--|
| (1) 中小・小規模事業者の自己変革・成長への支援 | ① 伴走支援強化 ② 省力化・デジタル活用による生産性向上支援 ③ 事業継続支援(資金繰り等) ④ 補助金申請サポート(省力化投資、新事業等) |
| (2) 持続的な賃上げの原資確保に向けた支援 | ① 価格転嫁対策 ② 受注者への価格交渉力向上の支援 ③ 賃上げの実態把握調査 |
| (3) デジタル化、DX 支援 | ① デジタル実装支援(生産性向上、DX 相談、専門家派遣、IT セミナー、展示会等) |
| (4) 売上維持・拡大への支援 | ① 消費喚起策の継続実施、販路開拓支援 |
| (5) 事業承継支援・スタートアップ支援 | ① 施策周知、個別相談、セミナー |
| (6) 新・経営発達支援事業計画の推進 | ① 小規模事業者支援(2 年目) |

2. 地域の振興・経済活性化を図る活動の強化【地域支援】

| | |
|-------------------|---|
| (1) 地方創生の推進 | ① 人口減少対策(調査・研究) ② 移住・定住促進対策(調査・研究) ③ 空き家等対策(調査・研究) |
| (2) 観光振興の推進 | ① 大河ドラマ「べらぼう」活用推進 ② 道の駅構想検討 ③ 地域資源を活用した土産品開発、ブランディング推進 |
| (3) 人手不足対策強化 | ① 人手不足対策(実態調査、外国人材活用等) ② 若者定着・回帰対策(説明会、エールしらかわ) ③ 小中学生のキャリア教育推進 |
| (4) エネルギー・環境政策の推進 | ① 環境アクションプランの策定・推進 |
| (5) 中心市街地活性化の推進 | ① 第4 期計画の推進(2 年目) |
| (6) 女性会・青年部との連携強化 | ① 各種事業の連携 |

3. 会員や地域の課題克服に繋げる各種調査、政策提言・要望活動の実施【後押し支援】

| | |
|---------------------------|------------------------|
| (1) 課題把握に基づく政策提言・要望活動の実行 | ① 課題把握に基づく政策提言・要望活動 |
| (2) 委員会・部会活動の活発化による討議の場拡充 | ① 調査・研究、交流、意見集約 |
| (3) 各種実態調査の実施 | ① 各種実態調査 |
| (4) 円滑な議員改選への取り組み | ① 改選への対応、機能強化(委員会編成など) |

4. 財政基盤・組織力の強化、会議所活動の見える化【持続組織確立・プレゼンス強化】

| | |
|-------------------------|---------------------------|
| (1) 会員拡大、共済・保険制度推進 | ① 組織率の向上、組織の充実化、財政基盤強化 |
| (2) 会員間の交流促進・会議所活用の理解促進 | ① 会員交流大会、新事業企画、会議所利活用 PR |
| (3) 商工会議所機能の高度化・業務デジタル化 | ① 業務効率化、IT 利活用、経営指導の高度化 |
| (4) 情報発信力の強化 | ① HP・SNS の活用、会報充実、有益情報の発信 |
| (5) 職員の資質・支援力向上 | ① OJT・支援ノウハウ共有、OFF-JT |

<具体的な数値目標>

1. 会員数 : 年間 50 件(職員一人 5 件)を達成し、10 件の純増
2. 共済・保険福祉制度推進 : BWC キャンペーン目標達成、生命共済の増口(50 口)

Ⅳ 委員会活動について

①総務運営委員会(委員長 鈴木清次)

1. 組織・財政基盤の強化・会議所活動の見える化

- 1) 会員拡大による組織力の強化
- 2) 共済・保険制度の推進等による財政基盤の安定強化
- 3) ペーパーレス化の推進

2. 会員間の交流促進

- 1) 会員交流促進のための会員交流大会やビジネス交流会・会員ゴルフ大会開催などの取り組み

3. 会員や地域の課題克服に繋げる政策提言・要望活動の実施

- 1) 委員会独自の意見の集約と全体的な意見の集約

② 地域振興委員会(委員長 金内貴弘)

1. 地方創生の推進

- 1) 本市における移住・定住促進に資する調査・研究

2. 人手不足対策強化

- 1) 働きやすい環境づくりや人材定着に向けた取り組みの推進・会員企業の意識向上

3. 会員や地域の課題克服に繋げる政策提言・要望活動の実施

- 1) 委員会独自の意見の集約と全体的な意見の集約

③ 商業活性化委員会(委員長 佐藤俊彦)

1. 事業承継

- 1) 後継者不在の実態把握と事業引継マッチングスキーム構築への取り組み

2. 観光振興の活性化

- 1) 地域資源を活用した土産品開発への取り組み

3. 会員や地域の課題克服に繋げる政策提言・要望活動の実施

- 1) 委員会独自の意見の集約と全体的な意見の集約

④情報化推進委員会(委員長 高田雅也)

1. 自己変革への挑戦

- 1) ITの有効性に関する経営者の「気づき」促進
- 2) 地域IT業者とデジタル導入希望者の実態調査

2. 業務デジタル化・情報発信力の強化

- 1) ITを利活用した業務の効率化
- 2) ホームページのリニューアルによる情報発信力の強化

3. 会員や地域の課題克服に繋げる政策提言・要望活動の実施

- 1) 委員会独自の意見の集約と全体的な意見の集約

⑤環境整備委員会(委員長 小野利廣)

1. 人手不足対策強化

- 1) 人手不足に関する実態調査、省力化の取り組み等の調査・研究

2. エネルギー・環境政策の推進

- 1) 「環境アクションプラン」策定のための調査・研究
- 2) 会報誌等を用いた環境対策事例の情報発信

3. 会員や地域の課題克服に繋げる政策提言・要望活動の実施

- 1) 委員会独自の意見の集約と全体的な意見の集約

⑥観光開発委員会(委員長 増子公夫)

1. 観光振興の活性化

- 1) 歴史をつなぐ観光ロード化への実現に向けた取り組み
- 2) 大河ドラマ・観光キャンペーンを活用した観光振興の推進

2. 会員や地域の課題克服に繋げる政策提言・要望活動の実施

- 1) 委員会独自の意見の集約と全体的な意見の集約

⑦まちづくり委員会(委員長 藤田龍文)

1. 地方創生及び中心市街地活性化の推進

- 1) 複合施設整備事業を活かしたまちづくりの調査・研究
・空き家利活用 ・駐車場のあり方 ・魅力ある店舗づくり

2. 会員や地域の課題克服に繋げる政策提言・要望活動の実施

- 1) 委員会独自の意見の集約と全体的な意見の集約

V 部会活動について

①商業部会(部会長 佐藤憲一)

1. 売上維持・拡大

- 1) 販路開拓・販売促進のための取り組み
- 2) IT ツール活用支援の強化

2. 有益情報の発信強化

- 1) 商業部会メーリング登録の促進及び補助金等のタイムリーな情報発信

3. 人材発掘・人材育成

- 1) 新分野に有望な人材発掘並びに次世代を担う人材の育成

4. 会員や地域の課題克服に繋げる政策提言・要望活動の実施

- 1) 部会独自の意見の集約と全体的な意見の集約

②工業部会(部会長 梶浦正俊)

1. 人手不足対策強化

- 1) 人手不足対策への取り組み
- 2) 地元企業を知る機会の創出

- 3) 企業間の情報共有

2. 会員や地域の課題克服に繋げる政策提言・要望活動の実施

- 1) 部会独自の意見の集約と全体的な意見の集約

③運輸交通業部会(部会長 人見守良)

1. 人手不足対策への対応

- 1) 人手不足対策への調査研究(勉強会の開催等)

2. エネルギー・環境政策の推進

- 1) カーボンニュートラル対策の研究
- 2) (必要に応じて)先進企業の視察

3. 会員や地域の課題克服に繋げる政策提言・要望活動の実施

- 1) 部会独自の意見の集約と全体的な意見の集約

④金融業部会(部会長 菊地広幸)

1. スタートアップ支援

- 1) スタートアップセミナーの開催
- 2) 部会員の交流促進

2. 研修会・交流会

- 1) 白河を知る研修会の開催
- 2) 部会員の情報発信

3. 会員や地域の課題克服に繋げる政策提言・要望活動の実施

- 1) 部会独自の意見の集約と全体的な意見の集約

⑤建設業部会(部会長 松本義則)

1. 人手不足対策強化

- 1) 人手不足対策と働き方改革への取り組み
- 2) 白河実業高校との関係強化

2. 勉強会・情報交換・視察

- 1) 白河市建設行政に関する勉強会の開催
- 2) 部会員との交流促進の開催
- 3) (必要に応じて)視察研修会の開催

3. 会員や地域の課題克服に繋げる政策提言・要望活動の実施

- 1) 部会独自の意見の集約と全体的な意見の集約

⑥旅館飲食業部会(部会長 高畠裕)

1. 売上維持・拡大支援

- 1) LINE 公式アカウントを利用したタイムリーな情報提供
- 2) 消費喚起のための商店街活性化事業の企画立案・実行

2. 人手不足対策強化

- 1) 人手不足に関する調査・研究

3. 会員や地域の課題克服に繋げる政策提言・要望活動の実施

- 1) 部会独自の意見の集約と全体的な意見の集約

⑦ 庶業部会(部会長 三上寛)

1. 先進地視察・交流会

- 1) 最先端技術の先進地視察研修
- 2) 部会員との交流会の開催

2. 会員や地域の課題克服に繋げる政策提言・要望活動の実施

- 1) 部会独自の意見の集約と全体的な意見の集約

VI 中小企業相談所事項について

1. 基本方針

中小企業・小規模事業者を取り巻く事業環境は、諸物価高や人手不足の影響、複雑化・多様化した課題に直面しています。

業績が伴わなくても人手を確保するために賃上げを迫られていると言われるように、依然として厳しい状況が続いています。

中小企業・小規模事業者は、こうした事業環境下においても事業を継続・発展させていくために、外部環境の変化に柔軟に対応した「自己変革」、そして経営力強化のための「ビジネスモデルの再構築」に取り組む必要があります。

白河商工会議所中小企業相談所としては、以下の基本方針を定め、経営者と対話・傾聴を通じた信頼感の醸成によるきめ細かな伴走型支援を強化してまいります。

第一に、中小企業・小規模事業者への伴走支援を強化し、事業継続対策や自己変革への挑戦支援に総力をあげて取り組みます。

第二に、中小企業・小規模事業者にとって、常に「最初に相談したい、頼りになる支援機関」となるために、地域企業のライフステージ（創業・成長・成熟・承継）に応じた総合パッケージによるきめ細かな個別支援に積極的に取り組みます。

第三に、新たな制度や制度改正など国等の政策・施策の動向を的確に把握し、各種施策の周知・活用促進による経営支援の実施と他の支援機関及び専門家との連携を密にし、様々な課題に対応していきます。

第四に、行政をはじめとした関係諸団体と強い連携のもと、地方創生の推進や観光振興・中心市街地活性化の推進など、地域経済を活性化させるための面的支援に取り組みます。

2. 重点事項

- 1) 中小企業・小規模事業者の成長を促進し、「稼ぐ力」の支援に取り組みます。資金繰り支援をはじめ、生産性向上やDX導入に向けたデジタル実装への支援、中小企業・小規模事業者の自己変革への挑戦に対する後押し支援を実施します。
- 2) 「第2期経営発達支援計画」の目標達成に向けて、小規模事業者支援を推進します。
- 3) 事業承継及びスタートアップ支援のために、各支援機関・専門家との連携を強化し、経営支援の高度化に取り組みます。
- 4) 地方創生の推進、観光振興・中心市街地活性化の推進など地域経済を活性化する活動を強化し、総力をあげて地域支援に取り組みます。

Ⅶ 事務局事項について

地域経済を牽引する中小企業・小規模事業者への「稼ぐ力」を生み出すための支援強化を図り、今後も複雑・多様化、増大化する会員・地域ニーズに応じていくため、きめ細やかなサービスの提供や商工会議所機能の高度化・業務デジタル化に取り組みます。

さらに、事務局組織機能を強化し、より一層効果的な事業を推進してまいります。

令和7年度は、次の事項を重点的に取り組みます。

- 1) 組織財政基盤強化に向けて、役職員一丸となり、会員拡大やアクサ生命との連携による共済・保険制度を積極的に推進します。
- 2) 会員間の交流促進につながる会員交流大会などを企画・実施します。
- 3) 委員会・部会活動の活発化による討議の場を拡充し意見集約を図り、政策提言・要望活動を積極的に実施します。
- 4) 大河ドラマや観光キャンペーンを活用した観光振興の推進を図るとともに、地域経済の活性化や観光面において大いに期待される「道の駅」の実現に向けた調査・研究、働きかけを実施します。
- 5) 人口減少、移住・定住、空き家等対策など地方創生の推進と人手不足対策のための調査・研究に取り組みます
- 6) 若者の地元定着・地元就職促進のための地元企業説明会と進学する若者とのつながり構築による地元回帰への取り組みを継続実施します。
- 7) ペーパーレス化の推進と IT を活用した業務効率化を図り、会議所運営の業務デジタル化に取り組みます。
- 8) 商工会議所のプレゼンス強化に向けて、会報紙面の充実や SNS の活用、ホームページリニューアルによる情報発信力を強化し、会議所の利活用促進を図ります。
- 9) 職員の支援力・資質向上を図り、事務局機能の強化を図ります。

Ⅷ 諸団体との連携事項について

次の事務委託団体及び関係機関等と連携して、事務の円滑化を図り各団体の目的達成に資する。

- | | |
|------------------------|-----------------|
| ・白河市商店会連合会 | ・白河地区税務関係団体協議会 |
| ・白河珠算連盟 | ・白河地区警察官友の会 |
| ・白河ロータリークラブ | ・白河西ロータリークラブ |
| ・白河南ロータリークラブ | ・白河ライオンズクラブ |
| ・白河市自衛隊協力会 | ・福島エネルギー懇談会白河支部 |
| ・白河国道4号4車線化整備促進活動期成会 | ・白河農商工連携産業協議会 |
| ・白河市中心市街地活性化協議会 | ・県南地域人材育成推進協議会 |
| ・白河市内商工会議所・商工会連絡協議会 | ・白河まつり振興会 |
| ・（公財）白河観光物産協会 | ・白河市国際交流協会 |
| ・（公財）日本電信電話ユーザ協会白河地区協会 | ・福島県産業教育振興会県南支会 |
| ・（一社）白河・西郷広域シルバー人材センター | ・（一社）産業サポート白河 |
| ・白河地域再生可能エネルギー推進協議会 | |



商工会議所のマークは、チャンバー・オブ・コマー스・アンド・インダストリー（CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY）の頭文字も含ませ、大鳥が翼を垂天の雲のごとく広げて9万里の上空を飛ぶ様子も表現しており、**調和**と**発展**を象徴している。

即ち、日本商工会議所が世界に飛躍していることを示し、全国各地の商工会議所は、この**マークで統一**されている。

チャンバーとは、会議所、コマースとは商業、インダストリーは工業の意味です。